

校長

一 縣令ノ命ヲ奉シ本校ノ事務ヲ總理シ其職員ヲ監督ス

二 監事副監事教諭助教諭以下各職員ノ進退黜陟ヲ具狀スルヲ得

監事

各壹名

副監事

一 教諭ヲ以テ之ニ充ツ

二 校長ノ職掌ヲ輔ケ費務ヲ提掌シ功課ヲ董督ス

三 校長事故アレハ其事務ヲ代理スルヲ得

教諭

一 生徒ノ教授ヲ掌ル

助教諭

一 教諭ノ職掌ヲ助ク

寄宿所取締

一 寄宿ノ生徒ヲ監視ス

書記

一 各庶務ニ從事ス

函館師範學校職員俸額

| 師範學校 | 長  | 書記                |
|------|--|-------------------|
| 准官等  | 八等以下十等以上   | 十一等以下十七等以上        |
| 月俸   | 八拾圓以下三拾圓以上   | 三拾圓以下拾圓以上         |
| 師範學校 | 一等教諭 二等教諭 三等教諭   | 一等助教諭 二等助教諭 三等助教諭 |
| 准官等  | 八等 九等 十等 十一等 十二等 十三等   |                   |
| 月俸   | 百圓以下五十圓以上<br>四十圓以上三十圓以下<br>三十圓以上二十圓以下<br>二十圓以上十五圓以上<br>十五圓以上十圓以上 |                   |

教諭ハ其職務定時間ニ滿タサルキハ適宜俸額ヲ減給スルヲアル  
ヘシ

月俸旅費支給法

第一條 月俸ハ毎月十七日支給スルヲ定則トス

第二條 免職又ハ奉職中病死ノ者ニハ其節ノ月俸半額ヲ以テ勤績一  
ケ年ニ充テ拜命以來ノ年數ニ乗シテ之ヲ給スヘシ

但他官ヨリ轉任并他官ニ轉スル者ハ其原任ノ勤績ニヨリ其際一  
且打切給スヘシ

第三條 旅費ハ一日十里詰ヲ以テ表面ノ通り日當ヲ支給スヘシ

旅費日當表

|        |      |      |      |        |      |
|--------|------|------|------|--------|------|
| 並旅行    | 赴任旅行 | 晝夜急行 | 滯留   | 管内並旅行  | 全上滯留 |
| 金貳圓七拾錢 | 金三圓  | 金三圓  | 金七拾錢 | 金壹圓六拾錢 | 金六拾錢 |

第四條 月俸滿年恩給及旅費支給法ハ一般ノ月俸及旅費規則ニ據リ  
テ之ヲ支給スヘシ

出 (番外) 十月九日

函館區役所

明治十五年度自明治十五年七月至同十六年六月其區役所經費豫算左之通相定候條此旨相  
達候事

一金四千七百八拾壹圓六拾錢

出 (番外) 同日

龜田郡役所

明治十五年度自明治十五年七月至同十六年六月其郡役所經費豫算左之通相定候條此旨相

候達事(以下同文)

一金三千九百四拾三圓

松前郡役所

一金五千貳百六拾六圓

爾志郡役所

一金四千百六拾圓

久遠奧尻郡役所

一金千九百八拾五圓

壽都島牧郡役所

一金三千百五十七圓

茅部郡役所

一金貳千六百四拾圓

出(番外) 同日

函館區第一組戶長役場

明治十五年度自明治十五年七月至同十六年六月其戶長役場經費豫算左之通相定候條此

旨相達候事(以下同文)

函館區第二組戶長役場

一金千拾六圓

同第三組戶長役場

一金千百六拾七圓四拾錢

龜田郡龜田 鍛冶 村戶長役場

一金三百三拾圓

同郡上湯川 村戶長役場

一金貳百八拾六圓

同郡志音 錢龜澤 村戶長役場

一金三百六圓

同郡石崎村戶長役場

一金貳百八拾六圓

同郡小安 村戶長役場

一金三百四拾三圓

同郡尻岸內村戶長役場

一金三百八圓

同郡菽法華村戶長役場

一金貳百九拾圓

同郡赤川 石川 村戶長役場

一金貳百九拾七圓

同郡七飯 鶴野 藤城 村戶長役場

一金三百五拾壹圓

同郡市渡 本卿 大野 村戶長役場

一金四百七拾六圓

上磯郡上磯 谷好 村戶長役場

一金五百貳拾七圓

一金貳百八拾六圓

同郡清野川村戶長役場

一金三百拾四圓

同郡茂邊地村戶長役場

一金貳百七拾圓

同郡石別村戶長役場

一金三百五拾圓

同郡泉澤札刈  
木古内村戶長役場

一金三百八圓

同郡知内  
小谷石村戶長役場

松前郡原口  
江良町村戶長役場

一金三百五拾三圓六拾壹錢八厘

同郡清部茂章  
雨垂石村戶長役場

一金三百三拾九圓四拾七錢四厘

同郡赤神札前  
根部田村戶長役場

一金三百三拾九圓四拾七錢四厘

同郡上及部大澤  
荒谷炭燒澤村戶長役場

一金三百三拾九圓四拾七錢四厘

同郡禮籠吉岡  
宮歌村戶長役場

一金三百八拾壹圓九拾錢八厘

同郡白待  
福島村戶長役場

一金三百九拾六圓五錢貳厘

爾志郡熊石村戸長役場

一金四百貳圓

同郡相沼内泊川村戸長役場

一金四百四圓

同郡三ッ谷蚊柱村戸長役場

一金四百四圓五拾錢

同郡乙部突符小茂内村戸長役場

一金五百三圓

檜山郡泊田澤伏木戸柳崎小黒部鱒川村戸長役場

一金五百四圓五拾錢

同郡目名土橋俄虫館赤沼安部呂村戸長役場

一金五百三圓

同郡北大留上ノ國村戸長役場

一金五百圓

同郡木ノ子鹽吹石崎小砂子村戸長役場

一金四百六圓

久遠郡太田上古丹久遠湯尻村戸長役場

一金三百四拾五圓六拾錢

同郡平田内貝取淵長磯村戸長役場

一金貳百九拾七圓六拾錢

奥尻郡釣懸赤石藥師青苗村戸長役場

一金貳百五十四圓四拾錢

太櫓郡 鶴泊真瑠石  
古櫓多大櫓 村戶長役場

瀬棚郡 瀬棚梅花都  
中歌此羅 村戶長役場

磯谷郡 能津登尻別  
島古丹橋瀨 村戶長役場

歌棄郡 美谷種前  
有戶湖路 村戶長役場

同郡 作開  
熱鄂 村戶長役場

壽都郡黑松内村戶長役場

一金貳百七拾圓貳拾錢

一金三百拾九圓貳拾錢

一金五百貳拾四圓

一金五百貳拾三圓貳拾錢

一金貳百貳拾八圓

一金貳百拾六圓

同郡 湯別  
榜岸 村戶長役場

一金三百拾八圓

同郡 矢追大磯渡島  
新榮岩崎間進六條 町戶長役場

一金七百六拾八圓

同郡政泊村戶長役場

一金貳百拾六圓

島牧郡 歌島本目  
輕白 村戶長役場

一金三百八拾四圓

同郡 永豐江泥邊  
千走原歌 村戶長役場

一金三百八拾四圓

茅部郡尾札部村戸長役場

一金三百貳拾貳圓貳拾貳錢四厘

同郡熊泊村戸長役場

一金三百拾壹圓三拾壹錢六厘

同郡鹿部村戸長役場

一金貳百四拾五圓八拾九錢貳厘

同郡砂原村戸長役場

一金三百拾壹圓三拾壹錢六厘

同郡鷺木峯谷村戸長役場

一金三百貳拾貳圓貳拾貳錢四厘

同郡落部村戸長役場

一金貳百七十八圓六拾錢四厘

同郡森宿野邊村戸長役場

一金四百三拾三圓四拾八錢八厘

同郡山越郡八雲村戸長役場

一金三百圓四拾錢八厘

同郡長万部村戸長役場

一金貳百九拾壹圓五拾貳錢八厘

出(番外)

同日

函館區役所

明治十五年度 自明治十五年七月 其部下戸長役場經費豫算左之通相定該

役場へ相達候條此旨相達候事(戸長役場經費金額ハ零之 同日各郡役所へモ達アリ)



出 (番外)

同日

磯谷郡役所

明治十五年七八兩月其部下元島古丹横瀨兩村戸長役場經費左ノ通候  
條此旨相達候事

一金九拾圓八拾錢

勅 (番外)

十一月十五日

租 稅 課

當管内出産ノ昆布ヘ壹束壹函毎ニ製造人住所氏名ヲ記シタル木札ヲ  
付著スベキ旨明治八年<sup>三</sup>元第廿三号開拓使函館支廳布達ノ趣モ有之  
候處近來往々等閑ニ付シ候者モ有之爲メニ不良ノ品種ヲ混入シ自ラ  
當道著大ノ物産聲價ヲ落シ内外國人ノ信用ヲ欠キ候條自今結束ノ分

ハ (収稅品商品) (ヲ問ハス) 其課海産稅檢査員ヲシテ木札附着ノ有無ヲ點檢セシメ

万一附着セサルモノアルキハ懇篤說諭シ右元第二十三号布達ノ主旨  
徹底候様可致此旨相達候事

勅 (番外)

十一月廿四日

函館區役所

明治九年<sup>八</sup>月第六十一号舊開拓使函館支廳達其區内貸座敷藝妓娼妓營  
業規則第三十一條第三十九條左ノ通改正候條此旨相達候事  
第三十一條 二十五才未滿ノ者女紅場ノ設ケアル場處ニ於テハ疾病  
事故アルノ外本業ノ余暇ヲ以テ必ス同場ヘ通學スヘキ事  
第三十九條 女紅場ノ設ケアル場所ニ於テハ疾病事故アルノ外本業  
ノ餘暇ヲ以テ必ス同場ヘ通學スヘキ事

庶(番外)

十二月六日

函館區役所

其區々會規則別紙ノ通裁定候條此旨相達候事

函館區區會規則

第一章 總則

第一條 區會ハ十三年四月第十八号公布ノ通其區内公共ニ關スル事件及其經費ノ支出豫算徵收方法并ニ縣廳ヨリ其區内ニ割付タル戶數割稅ヲ徵收スル爲メ各部出金ノ額ヲ議定ス

第二條 區會ハ通常會ト臨時會トノ二類ニ分ツ其定期ニ於テスルヲ通常會トナシ臨時ニ開ク者ヲ臨時會トス

第三條 臨時會ハ其特ニ會議ヲ要スル事件ニ限リ其佻ノ事件ヲ議ス

ルヲ得ス

第四條 通常會臨時會ヲ論セス會議ノ議案ハ區長ヨリ之ヲ發ス

第五條 通常會ニ於テ區内公共ニ關スル事件及ヒ經費ノ支出徵收方法ニ付議員ヨリ意見書ヲ出スルハ區長ハ之ヲ鑑別シ當ニ議スヘキ意見ト認ムルニ於テハ之ヲ會議ノ議案ト爲スヘシ尤意見書ヲ出スハ少クモ開會ヨリ三日以前タルヘシ

第六條 區會ノ議決ハ區長認可ノ上之ヲ施行スト雖モ其施行五日前(土曜日日曜日ヲ除ク)縣廳ニ報告スヘシ若シ議決ノ認可スベカラスト思慮スルキハ其事由ヲ會議ニ報告シ原案再議ヲ求ムヘシ再議ノ會議ニ於テハ五分ノ三以上ノ同意ヲ動議ニ得ルニ非サレハ其動議ハ行ハレサルヘシ再議尙施行スヘカラスト思慮スルキハ其事由

ヲ縣廳ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

第七條 區會ハ毎年通常會議ノ初メニ於テ區内ニ係ル前年度ノ出納決算ノ報告書ヲ受ケ區長若クハ其代理人ハ説明ヲ求ムルヲ得若シ意見アルキハ議長ノ名ヲ以テ直ニ縣廳ニ上申スルヲ得

第八條 通常會期中議員ノ内二人以上ノ發議ヲ以テ第一條ニ掲クル事件ニ付縣廳ニ建議セントスル者アルキハ先ツ議會ノ許可ヲ得テ之ヲ會議ニ付シ可決シタルキハ議長ノ名ヲ以テ建議スルヲ得

但臨時會ニ於テハ其會議ヲ要スル事件ニ限り建議スルヲ得  
第九條 區會ハ縣廳ヨリ區内ニ施行スヘキ事件ニ付意見ヲ問フアルキハ之ヲ議ス

第十條 區會ハ議事ノ細則ヲ議定シ區長ノ認可ヲ得テ施行スルヲ得  
得

第十一條 區會ハ議員ノ内招集ニ應セス又ハ事故ヲ告ケヌシテ參會セサルモノヲ審査シ其退職者タルヲ決スルヲ得

第二章 選舉

第十二條 區會ノ議員ヲ廿一人トシ區内各町左記ノ通り三部ニ分テ每部七人ヲ撰フ

一ノ部

- 大町 辨天町 仲濱町 幸町 大黒町 西濱町 鱧淵町
- 富岡町 天神町 旅籠町 船見町 鍛冶町 駒止町 臺町
- 山背泊町

二之部

元町 會所町 青柳町 春日町 相生町 住吉町 谷地頭町  
汐見町 曙町 壽町 末廣町 東濱町 船場町 惠比須町  
蓬萊町

三ノ部

地藏町 汐留町 寶町 豊川町 西川町 東川町 大森町  
鶴岡町 若松町 眞砂町 音羽町 高砂町 大繩町 海岸町

第十三條 每部議員定數ノ外補欠議員トシテ五人以下ヲ增撰スルヲ得

第十四條 議長副議長ハ議員中ヨリ公撰シ之ヲ區長ニ報告シ區長ハ之ヲ縣廳ニ報告スヘシ

第十五條 議長副議長及ヒ議員ハ俸給ナシ只書記ハ議長之ヲ撰ヒ庶

務ヲ整理セシム其俸給ハ會費ノ中ヨリ之ヲ支給ス

第十六條 區會ノ議員タルコトヲ得ヘキ者ハ滿二十歳以上ノ男子ニシテ區内ニ本籍住居ヲ定メ區内ニ於テ土地若クハ家屋ヲ有スル者及其嗣子相續人并ニ滿三ヶ年以上間斷ナク全戸區内ニ寄留シ區内ニ土地若クハ家屋ヲ有スル者ニ限ル尤左ノ各款ニ觸ル者ハ議員タルヲ得ス

第一款 風癪白痴ノ者

第二款 舊法ニ依リ一年以上懲役及ヒ國事犯禁獄ノ刑ニ處セラレ滿期後五年ヲ經サル者

新法ニ依リ公權ヲ剝奪及ヒ停止セラレタルモノ又ハ一年以上輕重禁錮ノ刑ニ處セラレ主刑滿期後五年ヲ經サ

ルモノ

第三款 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサルモノ

第四款 官吏教導職及陸海軍諸卒現役ノモノ

第十七條 議員ヲ撰舉スルヲ得ヘキモノハ二十歳以上ノ男子ニシテ

区内ニ本籍住居ヲ定メ土地又ハ家屋有スル者及ヒ同上ニシテ滿一

年以上間斷ナク寄留スル者(戸主非戸主ヲ問ハス)ニ限ル尤前條ノ一款二款三

款ニ觸ル、者及ヒ陸海軍々人現役ノ者ハ撰舉人タルヲ得ス

但シ甲部ノ者乙部ノ者ヲ撰舉シ乙部ノ者甲部ノ者ヲ撰舉スル等

自由マルベシ

第十八條 議員ヲ撰舉セントスルキハ區長ハ少クモ三日以内ニ撰舉

會ヲ開クヲ公告シ區役所ニ於テ投票ヲ爲サシム尤モ便宜ニ依リ

區役所外ニ於テ撰舉會ヲ開クヲ得

第十九條 撰舉人ハ豫メ區長ヨリ附與シタル投票用紙ニ自己ノ住所

姓名及被撰人ノ住所姓名ヲ記シ豫定ノ日之ヲ區長ニ出スヘシ其投

票ハ撰舉人ノ面前ニ於テ區長之ヲ披閱シ最モ多數ヲ得タル者ヲ以

テ當撰人トシ同數ナラハ年長ヲ取り同年ナラハ圖ヲ以テ之ヲ定ム

但投票ハ代人ニ托シ差出スモ妨ケナシ

第二十條 投票披閱ノ後區長ハ被撰人名簿ニ就テ當撰ノ當否ヲ查シ

若シ法ニ於テ不適當ナル者アルカ或ハ當撰人自ラ其撰ヲ辭スルハ

ハ順次多數ノ者ヲ取ル

第二十一條 當撰人ノ當否ヲ查定スルノ後區長ハ其當撰人ヲ區役所

ニ呼出シ當撰狀ヲ渡シ請書ヲ出サシムベシ

但當撰人請書ヲ出シタル後區長ハ其姓名ヲ區内ニ公告シ縣廳ヘ報告スヘシ

第二十二條 一人ニシテ數部ノ撰ニ當ルキハ其何部ニ屬スルヤハ本人ノ好ニ任ス

第二十三條 議員ノ任期ハ四年(通常會)トシ二年毎ニ全數ノ半ヲ改撰ス第一回二年改撰ヲ爲スハ抽籤ヲ以テ其退任ノ人ヲ定ム

第二十四條 議長副議長ハ議員ノ改撰毎ニ之ヲ公撰スヘシ

第二十五條 前二條ノ場合ニ於テハ前任ノ者ヲ再撰スルヲ得

第二十六條 議員中第十六條諸款ノ場合ニ遭遇スルカ區外ニ轉籍ス

ルカ其佗總テ欠員アルキハ更ニ之ニ代ル者ヲ撰擧ス

但補欠員アルキハ順次投票ノ多數ヲ以テ之ヲ取り尙缺員アルキ

ハ本條末文ノ手續ニ依ル

第三章 議則

第廿七條 議員半數以上出席セサレハ當日ノ會議ヲ開クヲ得ス

第廿八條 會議ハ過半數ニ依テ決ス可否同數ナルキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第廿九條 區長若クハ其代理人ハ會議ニ於テ議案ノ旨趣ヲ説明スルヲ得之ヲ番外議員ト云フ而シテ番外議員ハ決議ノ數ニ入ルヲ得

ス尤モ第五條ニ掲クル議案ノ旨趣ハ意見書ヲ出セル者之ヲ説明スルヲ得

第三十條 會議ハ傍聽ヲ許スト雖モ區長若シクハ其代理人ノ要メニ依リ又ハ議長ノ意見ヲ以テ之ヲ禁スルヲ得

第三十一條 議員ハ會議ニ方リ充分討論ノ權ヲ有ス然レモ人身上ニ付テ褻貶毀譽ニ涉ルヲ得ス

第三十二條 議場ヲ整理スルハ議長ノ職掌トス若シ規則ニ背キ議長之ヲ制止シテ其命ニ順ハサル者アルキハ議長ハ之ヲ議場外ニ退去セシムルヲ得其強暴ニ涉ルモノハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルヲ得

#### 第四章 開閉

第三十三條 區會ハ毎年二月ニ於テ之ヲ開ク其開閉ハ區長ヨリ之ヲ命シ會期ハ三十日以内(日曜日ヲ除ク)トス尤モ區長ハ會議ノ決議ヲ取リテ其日限ヲ伸フルヲ得ルト雖モ直ニ其事由ヲ縣廳ニ報告スヘシ

第三十四條 通常會期ノ外會議ニ付スヘキ事件アルカ又ハ議員三名以上ノ全議ヲ以テ開會ヲ求ムルキハ臨時會ヲ開クヲ得ルト雖モ區

長ハ該會ヲ要スル事由ヲ縣廳ニ報告スヘシ

第三十五條 縣廳ヨリ解散ヲ命シタルキハ其解散ヲ命シタル日ヨリ

三十日以内ニ更ニ議員ヲ改撰スヘシ

但此場合ニ於テハ解散ヲ命セラレタル者ヲ再撰スルモ妨ナシ

#### 第五章 諮問會

第三十六條 諮問會議員ハ區會ノ議定ニ依リ協議費ヲ以テ支辨スヘキ事業ヲ施行スルノ方法順序及ヒ協議費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ區長ヨリ諮問スルヲアルキハ其意見ヲ述ヘ或ハ其經費ヲ豫定シ是ヲ各議員ヘ報告スヘシ

第三十七條 諮問會議員ハ區會議員相互投票ヲ以テ五名ヲ撰定スヘシ





|       |      |     |       |       |       |      |     |       |       |
|-------|------|-----|-------|-------|-------|------|-----|-------|-------|
| 三百五拾六 | 三百卅九 | 三百八 | 貳百九拾五 | 貳百九拾壹 | 三百五拾六 | 三百卅九 | 三百八 | 貳百九拾五 | 貳百九拾壹 |
| 四     | 八    | 拾   | 拾壹    | 壹     | 四     | 八    | 拾   | 拾壹    | 壹     |
| 十金    | 衣廻   | 水害  | 發存    | 精組    | 十金    | 衣廻   | 水害  | 發存    | 精組    |
| 一〇金   | 夜〇廻  | 水〇害 | 廢〇存   | 精〇組   | 一〇金   | 夜〇廻  | 水〇害 | 廢〇存   | 精〇組   |

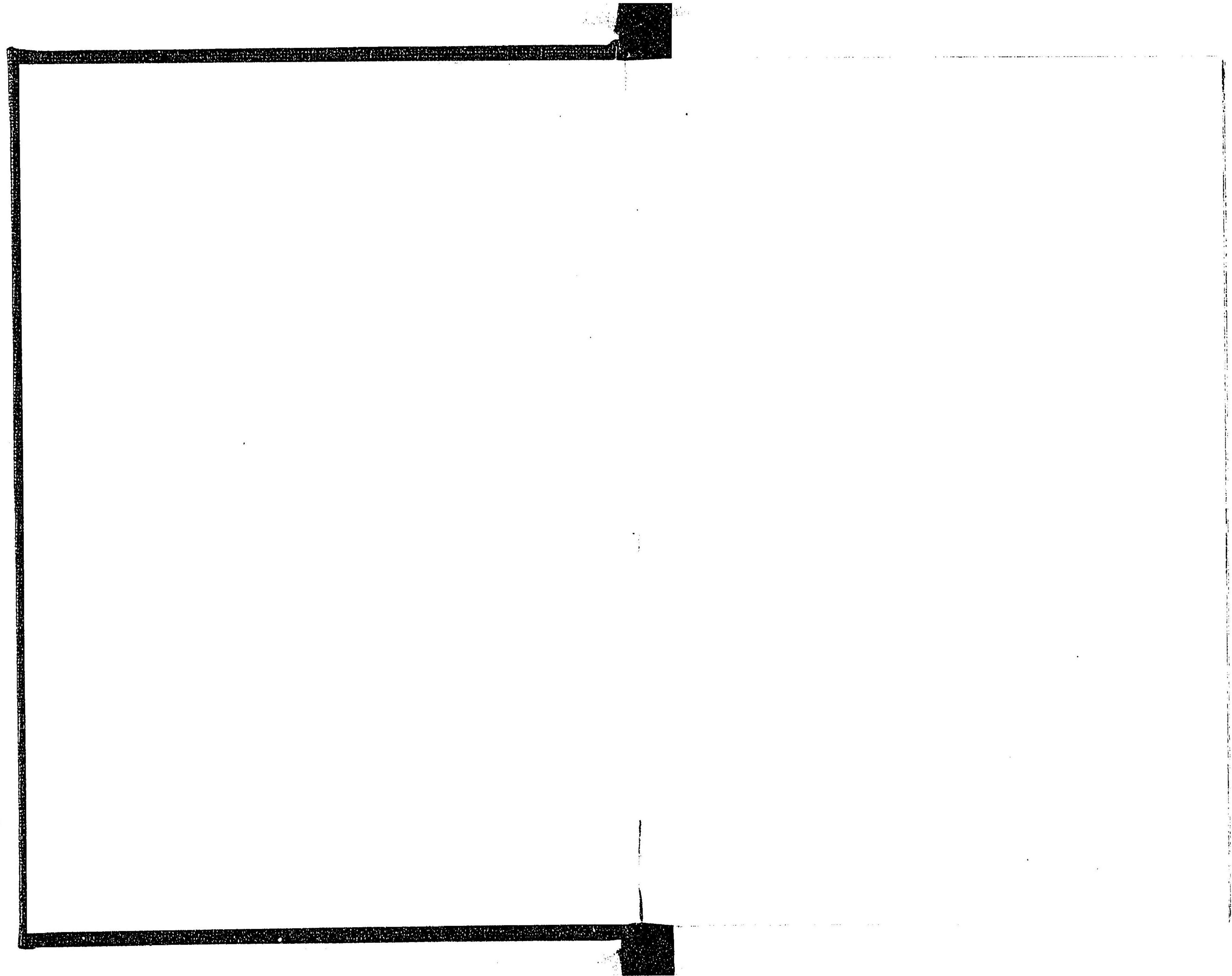
|       |       |         |      |         |           |        |      |          |     |      |        |        |
|-------|-------|---------|------|---------|-----------|--------|------|----------|-----|------|--------|--------|
| 貳百八拾七 | 貳百五拾九 | 貳百三拾    | 貳百六  | 百九拾壹    | 百八拾六      | 百六拾壹   | 百五拾壹 | 百四拾六     | 百四拾 | 八拾壹  | 七拾五    | 六拾四    |
| 六     | 九     | 三       | 七    | 三       | 七         | 六      | 九    | 拾壹       | 壹   | 三    | 四      | 五      |
| 死亡    | 進遞    | 三錢      | 十二年度 | 牡馬ノ部    | セルハ年限     | 主任ノ區   | 候 歟  | 三麻村塚本    | 勘   | 旅泊村  | 第壹積金   | 薪炭材百石  |
| 逃〇亡   | 進〇達   | 三〇錢〇五〇厘 | 十五年度 | 牡〇牛〇馬ノ部 | セルハ本〇條〇年限 | 主任ノ郷〇區 | 候 歟  | 三麻村平〇民塚本 | 勘   | 旅宿〇村 | 第一〇蓄積金 | 薪炭材百〇石 |

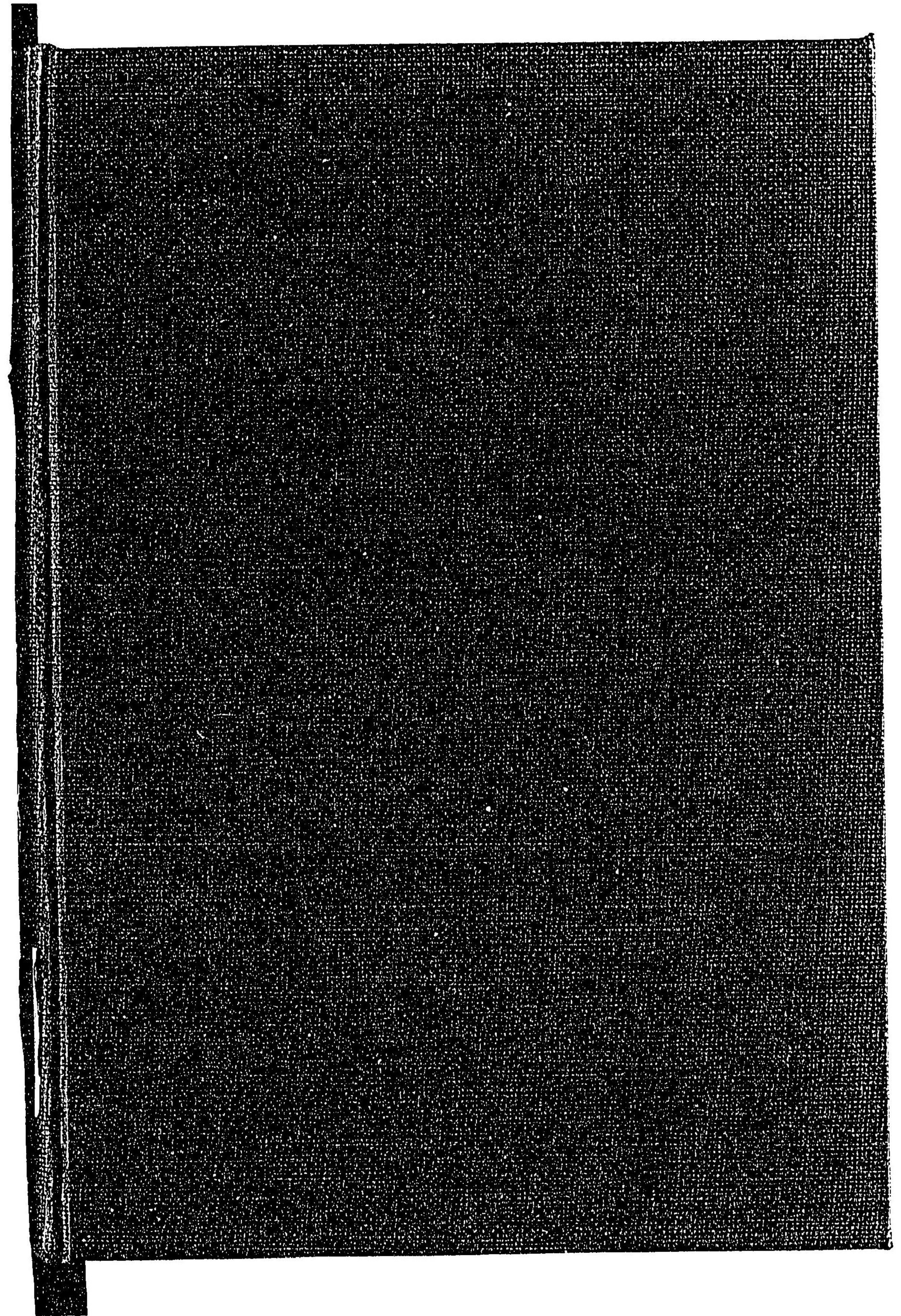
明治十六年四月四日 出版届

同 年同月 出版

編纂 函館縣 出版

97708





禁電子式複写

031364-001-3

CZ-1113-12-H-01

函館県布達達全書 明治15、16年

函館県

M16, 17

BBD-0607



